

## 住職の写真日記より【令和4年3月】

2月は、コロナの市内感染者大幅増加でお寺の行事は全てお休み、今月は久々の再開になり、皆さんの元気な顔を拝見出来ました。雪解けは進んでますが、まだまだ住宅街は車のすれ違いがしにくく、道路もかなり傷んでデコボコです。春が待ちどろしいですね。



2日 昭和初期のひな壇  
江別のお寺の檀家さん所有。よく100年近くも大事に保管されていたことに驚かされますね。



3日 水平社宣言100年  
1922年3月3日でした。記念館は奈良県・御所市に。久々に映画「橋のない川」をDVDで鑑賞しました。



4日 ご縁あって書を手  
書家の久保奈月さんの作品です。「以心伝心柱」と書かれています。先月号で紹介した雑貨屋さんで個展を開催。



11日 11年経ちました  
今年もおつとめの後、地震発生時刻に合わせ、追悼の鐘を撞きました。4名の方が来てくれました。



11日 余間に襖絵入れました  
皆さんからいただいた別修永代経懋志で絵師にお願いして描いていただきました。襖絵は4枚で四季になっています。



13日 美笛の国道でなだれ  
よく通っていた道なのでぞつとしました。何日間か通行止め、巻き込まれた車がいなくてホントによかったですね。



15日 宮城で震度6強  
3月に大きな地震があると不安になりますね。仙台にいる弟から家具が倒れた写真が送られてきました。



20日 3年ぶりのご出講  
コロナのため出講出来なかったルスツ村の安野先生。とうやく叶いました。とてもお元気そうで安心しました。



24日 田中邦衛さん1周年  
富良野へは20年以上前に、一度だけ行った事があります。「北の国から」の五郎の石の家を見学。また行きたいです。

## 坊守の独り言

子ども達が千歳に帰省すると「おふくろの味」として必ず食べたいお店が数店あります。おそば屋さん、ラーメン屋さん、近所の「ほかほか弁当」とか。私の料理は論外のようなのですが、懐かしい味としてホッとするのでしょう。

3月末日をもって千歳市内の老舗の仕出し屋が廃業することになりました。

住職は「私たち兄弟はこの仕出しで大きくなった」というくらい土日はこの仕出しを食べていたのでしょう。うちの子どもたちも同じです。

土日に法事で頂いた仕出し料理が月曜日のお弁当に登場することもありました。

特別な日に食べる「仕出し料理」。法事や冠婚葬祭に欠かせない料理。

この習慣が失われつつある寂しい社会になってきました。